

履修コード/科目名称	076801 / 教育とメディア 076802 / 教育方法論		
開講年度・期	2019年 前期	開講曜日・時限	水曜日 4時限
単位数	2		
付記	◎予		
主担当教員氏名(カナ)	石橋 達也 (イシバシ タツヤ)		
副担当教員氏名(カナ)			

授業概要	具体的な授業映像や記録、関連資料の分析及びそれに基づく協議を通して、授業構成要素及び授業の計画・実施・評価の方法について体験的に学ぶ。		
到達目標(ねらい)	<p>本授業では、授業構成要素である目標、内容、指導方法、学習方法、指導組織・形態、学習組織・形態、学習環境・メディア、ICT機器の利用、学習評価、およびこれらを前提とした指導案の作成等々について、具体的な事例に基づいて理解を深めると共に、その工夫・改善のあり方について理解する。そのことにより、これからの社会を担う子供たちに求められる資質・能力を育成するために必要な教育の方法を理解する。また、教育の目的に適した指導技術を理解し、身に付ける。</p> <p>また、ICTを利用した教材の開発やそれを利用した模擬授業を行い、情報機器を活用した効果的な授業や適切な教材の作成・活用に関する基礎的な能力を身に付ける。</p>		
授業スケジュール	第1回	授業ガイダンス 過去に経験した授業について各自振り返り、それを共有し、教育方法・技術について学ぶことの意義を理解する。	
	第2回	授業の構成と授業設計 授業を構成している要素を分類整理し、それを構造化することで、教師に求められる授業設計の全体像と要素を理解する。	
	第3回	授業のカリキュラム これまでの学習指導要領の変遷と現学習指導要領の特徴を理解し、授業カリキュラムの前提となる事項について理解する。	
	第4回	力量向上の方法 教材研究と指導法研究について学び、教師としての力量向上のための方法を身につける。	
	第5回	授業形態 典型的な授業形態とその効果的な活用について学び、授業設計の段階で適切な授業形態を組み合わせることができるようにする。	
	第6回	一斉授業の技術 一斉授業を展開するための基礎的な技術を授業記録の分析と協議により学習する。	
	第7回	グループ授業の技術 グループ授業を展開するための基礎的な技術を授業記録の分析と協議により学習する。	
	第8回	個別授業の技術 個別指導を展開するための基礎的な技術を授業記録の分析と協議により学習する。	
	第9回	授業の評価 授業や学習の評価の種類やその具体的方法について学習する。	
	第10回	アクティブラーニング アクティブラーニングの様々な方法について学習する。	
	第11回	CT利用(入門編) 授業におけるICT利用の入門として、実物投影機やプロジェクターなどの機器、写真、ビデオなどの表現メディアの活用の利点と活用方法について具体的に学習する。	
	第12回	ICT利用(発展編) 授業におけるICT利用の発展的利用として、電子黒板、タブレット、デジタル教	

		科書等の現状や機能について具体的に学習する。
	第 13 回	効果的なICTを利用した授業 電子黒板、タブレット、デジタル教科書を利用した先行的実践記録を通して、その効果的利用法や既存のアナログ教具、教材との組み合わせ利用について学習する。
	第 14 回	教材開発の方法 ICTを活用した教材開発の方法について学習する。
	第 15 回	模擬授業と相互評価 開発した教材を利用したマイクロティーチングを実施し、相互評価を行うことで、実践力を高める。
準備学習		日頃から、教育の問題、特に教育方法に関連したコンピュータやインターネットなどの情報メディアの活用に関する話題に対して関心を持つておくこと。
履修上の留意点等		受講する学生は、この授業が「教職」を目指す上で必要な科目であることをしっかり自覚した上で、授業にはできる限り出席して授業中は真面目に取り組むこと。
成績評価の方法		試験
	60 %	レポート
		小テスト
		平常点
	30 %	授業中に指示した課題
	10 %	授業への積極的な参加の状況
教科書/テキスト		吉田武男（監修）、樋口直宏（編集） 『教育の方法と技術（MINERVAはじめて学ぶ教職 11）』（ミネルヴァ書房、2019年、税込2,376円） ISBN：9784623085057
参考書 ▶ 図書館蔵書検索		中学校学習指導要領（平成29年3月告示 文部科学省） 高等学校学習指導要領（平成30年3月告示 文部科学省） その他、必要に応じて、授業中に紹介する。
学生による授業アンケート結果等による授業内容・方法の改善について		受講生の中には授業の進度がやや早いと感じるとか、テーマの説明やパソコンの操作方法が理解しづらいなどの感想がありました。なるべく全員が十分に理解して進めるように工夫や配慮をしていくつもりですが、途中での質問をいつでも受け入れていますので、分かりづらい場合には遠慮せずに質問をしてください。
関連リンク		
実務経験がある教員による授業科目		